

リバウンドにおける相関関係 ～背が低い人でもリバウンドを取るには～

班員 児玉 紘基 中村 武蔵 指導者 黒木 雄斗先生
河野 拓実 川崎 佑真 黒木 空 黒木 高智先生

研究の動機

シュートの軌道や落下点がわかれば、高身長
のプレイヤーがいないチームや、技術は高い
が身長が原因で活躍できない。というような
プレイヤーへの一助となるかもしれない。

先行研究

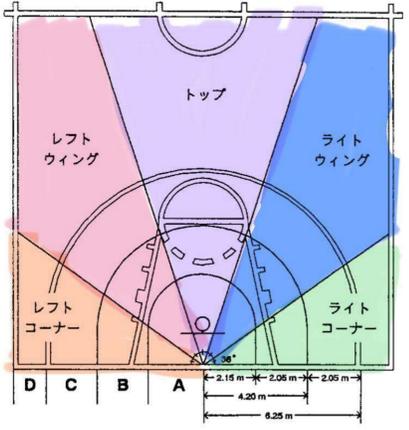
【論文、課題研究名】
バスケットにおける3ポイントシュートのリバウンド
についての再検討 (筑波大)
【概要】
落下点のみに着目、**実用性に乏しい**。

研究方法

- ①シュートを打って**ボールの落下地点**を記録する。
- ②シュートを**打つ位置**とゴールの**衝突位置**の落下地点との関係性を調べる。



※リングとコートを右の画像のように分ける。

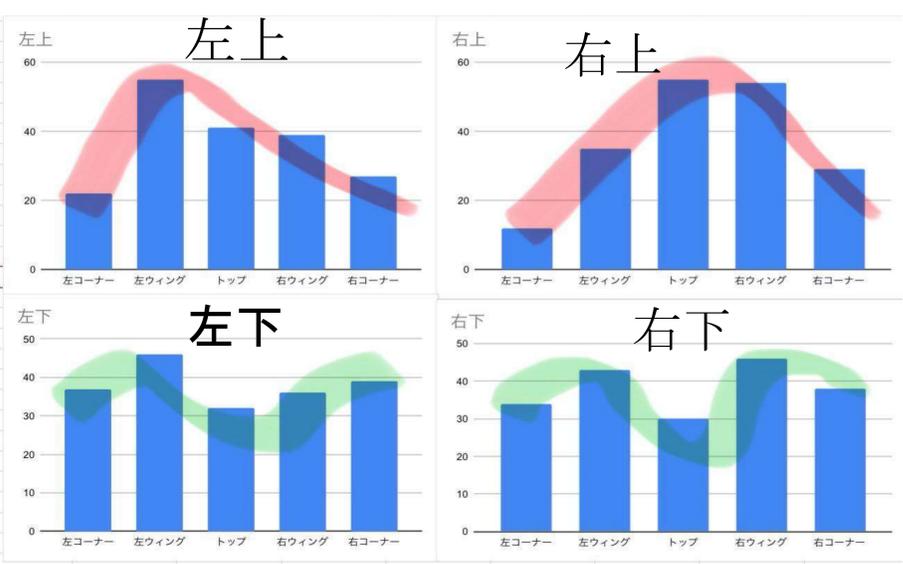


仮説

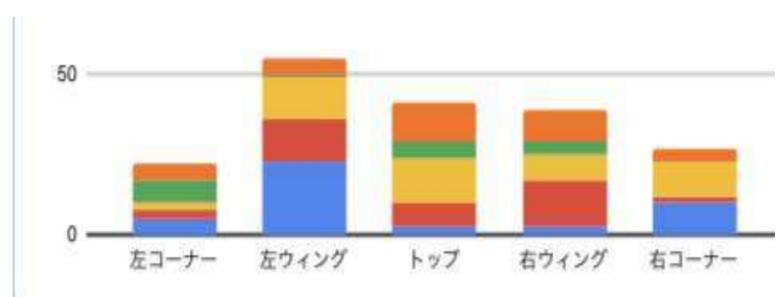
シュートを打った場所とリングの衝突位置によつて、ボールの**落下地点**に違いがあるのではないか。

結果

リングの衝突位置と落下地点



打つ位置と落下地点 **相関** X



考察

シュートを打つ位置とボールの落下地点にはあまり**相関関係は見られなかった**。

ただし、**リングの衝突位置と落下地点**には若干の偏りがあり

- リングの上部に衝突→コート中心
- リングの下部に衝突→コート端

バスケットのリバウンドにはシュートを打つ位置が与える影響は少なく、

リングの衝突による影響が大きいことが読み取れる。

参考文献

バスケットボールにおける3ポイントシュートの
リバウンドについての再検討
<https://core.ac.uk/download/pdf/56631945.pdf>

必要な道具

バスケットボール、バスケットコート